

「株式会社ゆう幸」への海外展開支援について

～台湾での常設店舗出店を秋田銀行グループ、日本政策金融公庫、アグリビジネス投資育成が協調支援～

株式会社秋田銀行（頭取 芦田 晃輔）および株式会社あきぎんキャピタルパートナーズ（代表取締役 石川 聡）は、株式会社日本政策金融公庫秋田支店中小企業事業（以下、「日本公庫」という。）およびアグリビジネス投資育成株式会社（以下、「アグリビジネス投資育成」という。）と協調し、株式会社ゆう幸（代表取締役 佐々木 幸生）が台湾・高雄市での常設店舗出店および現地法人の設立を進めるにあたり、投融資などの海外展開支援を行いましたのでお知らせいたします。

株式会社ゆう幸は、秋田県産素材を活用した菓子の製造・販売を手がけ、「くら吉」ブランドとして国内の主要百貨店を中心に事業を展開している企業です。今回の常設店舗出店にあたっては、当行の台北駐在員事務所が市場情報の提供、現地百貨店の紹介、商談への同行、現地法人設立に向けた各種調整など、進出準備から実行まで継続して支援いたしました。

当行グループと日本公庫、アグリビジネス投資育成は、今後も地域事業者の皆さまへの成長資金の供給や海外展開支援を通じて、秋田の地域資源を活かした新たなビジネスに挑戦する企業を積極的に支援し、地域社会の持続的な成長に貢献してまいります。

記

1 投融資先の概要

企業名	株式会社ゆう幸
代表者	佐々木 幸生
業種	生菓子製造および店舗運営
住所	秋田県秋田市御所野下堤3-2-3
事業内容	株式会社ゆう幸は、秋田県産の栗や果実などの地域素材を活かした菓子の製造・販売を手がける企業です。和と洋を融合させた高付加価値な菓子づくりを強みとし、善兵衛栗（西明寺栗）や上小阿仁村のコアニスweetsホオズキ（食用ほおずき）など、産地や生産者にこだわった素材を活用した商品開発により、秋田の食の魅力を全国に発信しています。

2 投融資の内容

資金使途	台湾向け商品開発費、新規市場開拓にかかる営業経費等
総事業費	非公表
投融資金額	非公表
投融資内容	○ あきぎんキャピタルパートナーズ：秋田市中心小企業振興2号投資事業有限責任組合を通じた第三者割当増資の引受け ○ 日本公庫：海外展開・事業再編資金（現地法人設立後実行予定） ○ アグリビジネス投資育成：第三者割当増資の引受け

3 当社の国内店舗展開と台湾出店



秋田発祥の菓子ブランド「くら吉」の海外初出店

台湾 高雄 漢神巨蛋購物廣場内

**2026年7月現地法人設立予定
2026年9月開業予定**

店舗外観



2026年2月開催の催事の様子





主力商品 KURAKICHIあきたフルーツクッキー缶



秋田の厳選素材を活かし、季節やシーンに応じたクッキー缶を展開。「長寿」や「繁栄」を象徴する桃や、縁起の良い赤色を取り入れた台湾向けアソートとしている。



国内店舗状況

国内百貨店での展開実績を基盤に、
海外市場へ展開

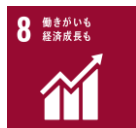
4 秋田市『未来応援』2号ファンドの概要

名称	秋田市中心企業振興2号投資事業有限責任組合 (通称：秋田市『未来応援』2号ファンド)
設立日	2025年2月3日
存続期間	約10年
ファンド総額	300百万円
ファンド運営会社 (GP)	株式会社あきぎんキャピタルパートナーズ
出資者 (LP)	秋田市、株式会社秋田銀行、秋田県信用組合、秋田県信用保証協会、秋田信用金庫、株式会社ゆうちょ銀行
投資対象	<ul style="list-style-type: none"> ① 新たな事業を立ち上げるベンチャー企業及び第二創業（新事業展開）をはかる中小企業 ② 競争優位性を持ち、今後も事業拡大が期待できる中小企業 ③ 競争力を有するものの事業承継問題を抱える中小企業 ④ 秋田市に縁のある中小企業 <p>※ 原則、秋田市内に事業所を有すること</p>
投資形態	株式、社債等

5 秋田市『未来応援』2号ファンドの投資実行先一覧

	企業名	事業内容
第1号	有限会社ラーメンショップチャイナタウン	飲食業（ラーメン店）
第2号	Cranebio 株式会社	フェムテック製品の開発・製造
第3号	株式会社ATOMica	ソーシャルワーキング®の企画・開発・運営

(以上)



SDGs (Sustainable Development Goals)

2015年に国連で採択された持続可能な開発目標であり、2030年までに解決すべき世界的優先課題 17 目標と目標を達成するための 169 のターゲットが示されています。